



マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121代
支店・営業所
札幌支店 〒060-0041 札幌市中央区大通東6-12-8 TEL(011)261-7141代
仙台支店 〒984-0002 仙台市若林区卸町東2-1-29 TEL(022)236-4121代
盛岡営業所 〒020-0824 盛岡市東安庭2-10-3 TEL(019)621-3541代
新潟支店 〒955-0081 三条市東裏館2-14-28 TEL(0256)34-2112代
東京支店 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8118代
群馬営業所 〒370-0031 高崎市上大須町4-1-2 TEL(027)353-7075代
長野営業所 〒399-0033 本田市笹賀8-11-5 TEL(0263)26-4377代
関東営業所 〒300-0811 土浦市上高津9-15-1 TEL(029)835-7322代
千葉営業所 〒284-0001 四街道市大日18-70-1 TEL(043)422-7400代
千代田支店 〒462-0819 名古屋市長区幸町2-4-87 TEL(052)918-8619代
静岡営業所 〒420-0067 静岡市葵区幸町2-9-1 TEL(054)205-3535代
大阪支店 〒553-0004 大阪市福島区玉川1-3-18 TEL(06)6444-2035代
京都支店 〒700-0971 岡山市北区野田3-23-28 TEL(075)645-5061代
神戸営業所 〒650-0017 神戸市中央区楠町6-2-4 TEL(078)367-1580代
広島支店 〒733-0035 広島市西区南観音7-11-24 TEL(082)291-6331代
福岡支店 〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-11 TEL(092)411-5416代
南九州営業所 〒891-0115 鹿兒島市東開町3-24 TEL(099)269-5347代

販売関係会社
埼玉マックス㈱ 〒331-0823 さいたま市北区日進町3-4-21 TEL(048)651-5341代
横浜マックス㈱ 〒241-0822 横浜市旭区さちが丘7-6 TEL(045)364-5661代
多摩営業所 〒190-0022 立川市錦町5-17-19 TEL(042)528-3051代
金沢マックス㈱ 〒921-8061 金沢市森戸2-15 TEL(076)240-1878代
岡山マックス㈱ 〒700-0971 岡山市北区野田3-23-28 TEL(086)246-9516代
四国マックス㈱ 〒761-8056 高松市上天神町7-61-3 TEL(087)866-5599代

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー一統
本社・高崎サービスステーション 〒370-0031 高崎市上大須町4-1-2 TEL(027)350-7820代
高崎サービスステーション 〒331-0823 さいたま市北区日進町3-4-21 TEL(048)667-6448代
札幌サービスステーション 〒060-0041 札幌市中央区大通東6-12-8 TEL(011)231-6487代
仙台サービスステーション 〒984-0002 仙台市若林区卸町東2-1-29 TEL(022)237-0778代
名古屋サービスステーション 〒462-0819 名古屋市長区幸町2-4-87 TEL(052)918-8624代
大阪サービスステーション 〒553-0004 大阪市福島区玉川1-3-18 TEL(06)6446-0815代
広島サービスステーション 〒733-0035 広島市西区南観音7-11-24 TEL(082)291-5670代
福岡サービスステーション 〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-11 TEL(092)451-6430代

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。
●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。



4011286
140522-00/00

2 ▲安全上のご注意

▲警告

- 7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。
8. 火災の恐れがありますので次のことをしない。
9. 電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
10. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。
11. 充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。
12. 異常を感じたら絶対に使用しない。
13. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。
14. 充電器は充電以外の用途に使用しない。
15. 密閉された狭い場所で使用しない。
16. 電池パックを使用しない時は、必ずバックキャップをかぶせる。
17. 充電器を使用しない時はコンセントから電源コードを抜く。

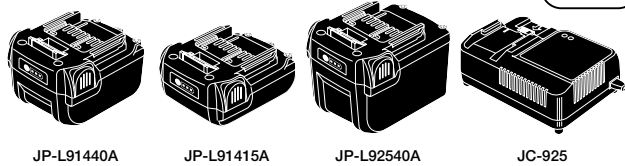
▲注意

- 1. 作業場は、いつもきれいに保つ。
2. 子供を近づけない。
作業場以外、充電工具や充電器本体、電源コードに触れさせないでください。
作業場以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

マックスリチウムイオン電池パック
JP-L91440A
JP-L91415A
JP-L92540A
マックスリチウムイオン急速充電器
JC-925

取扱説明書

プロ用



▲警告
●使用前に取扱説明書を読む。
●使用しない時は、短絡(ショート)防止用バックキャップを端子部に必ずかぶせる。
●端子部に他の金属を絶対に触れさせない。また、雨や水などにぬらさない。短絡(ショート)して、発熱・発火・破裂・発煙の恐れがあります。
●火中や焼却炉に絶対に投げ込まない。破裂したり、有害物質発生恐れがあります。
●充電には指定のマックス電池パックと電池パックを必ず使用する。
●必ず100V電源から充電する。
●発電機・昇圧器は絶対に使用しない。
●長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
●マックス指定工具以外には使用しない。
●揮発性可燃物や引火のおそれがある物とは絶対に使用しない。
●雨の中、水にかかるところでは使用しない。
●濡れた手で絶対に触れない。
●絶対に分解・改造をしない。
●異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●電池パック・充電器の仕様は機能向上のため、予告なく変更することがあります。

2 ▲安全上のご注意

▲注意

- 3. 使用しない場合は、きちんと保管する。
4. 充電器は、注意深く手入れをする。
5. 充電器のコードを乱暴に扱わない。
6. 損傷した部品がないか点検する。
7. 充電器の修理は、専門店に依頼する。

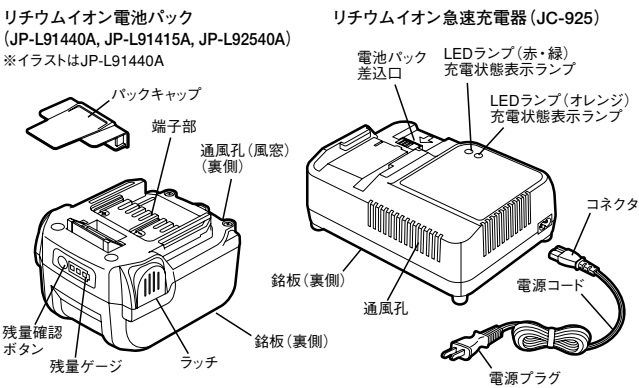
この取扱説明書は、大切に保管してください。

このたびは、マックスリチウムイオン電池パック、マックスリチウムイオン急速充電器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。電池パック、充電器の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、▲警告、△注意、注 に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。
▲警告: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
△注意: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
注: 製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

1 各部の名称



3 仕様及び付属品

Table with 2 columns: 商品名 (Maxx リチウムイオン急速充電器), 商品記号 (JC-925), 電源 (入力) (AC100V 50/60Hz 290VA), 充電電圧/電流 (出力) (DC14.4V/7.5A DC25.2V/4.5A), 質量 (1.4kg), 使用温度範囲 (5℃～40℃), 冷却 (ファン付), 付属品 (電源コード (2芯ビニールコード IEC 60320 C7コネクタ))

Table with 4 columns: 商品名 (Maxx リチウムイオン電池パック), 商品記号 (JP-L91440A, JP-L91415A, JP-L92540A), 電池種類 (リチウムイオン電池), 公称電圧 (DC 14.4V, DC 14.4V, DC 25.2V), 公称容量 (定格容量) (4.0Ah (3.9Ah), 1.5Ah (1.5Ah), 4.0Ah (3.9Ah)), 充電時間 (周囲温度25℃時) (実用充電: 約33分, 満充電: 約45分), 付属品 (バックキャップ [短絡(ショート)防止用])

・上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

2 ▲安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつも見られる所に必ず保管してください。
●他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

▲警告

- 安全作業のために:
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
1. 専用の充電器や電池パックを使用する。
2. 正しく充電する。
3. 電池パックの端子間を短絡(ショート)させない。
4. 感電に注意する。
5. 作業場の周囲状況も考慮する。
6. 電池パックを火中に投入しない。

4 使用方法

▲警告

- 指定電圧で充電する。
●エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。
●正常なコンセントを使う。

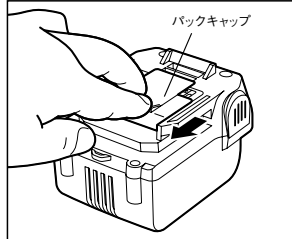
◆充電方法

※お買い上げ時の電池パックについては十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

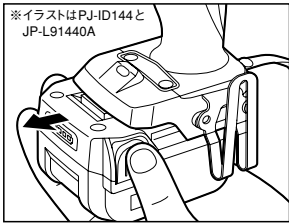
▲警告

- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、工具に取り付け、スイッチ操作すると動作する恐れがあるので注意する。
●電池パックを工具に取り付け、取り外しをする前に、必ず工具のスイッチがロックされていることを確認する。

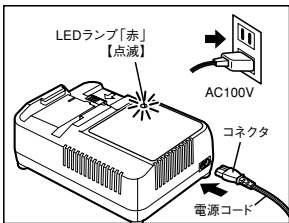
- 電池パックの端子部にかぶせてある短絡(ショート)防止用のバックキャップを外してください。



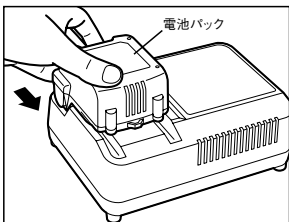
一度使用されて電池パックを工具に取り付けている場合は、工具より電池パックを取り外します。(電池パックの取り外し方 参照)



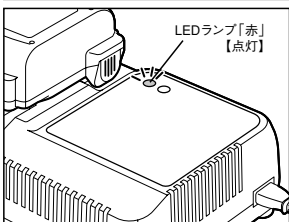
●**充電器の電源コードのコネクタを充電器本体に奥までしっかり差し込み、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。**
※この際に、充電器本体のコネクタ接続部分にゴミ等の異物がないことを確認してください。LEDランプ「赤」が点滅し、電子ブザーが2回「ビ、ピ」と鳴り、通電状態をお知らせします。



●**電池パックを充電してください。**
1.電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたるまでしっかりとスライドさせます。

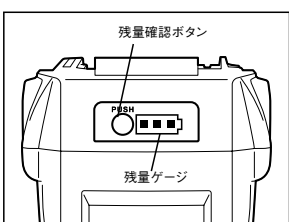


2.電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。
LEDランプ「赤」が点灯し、電子ブザーが1回「ピ」と鳴り、充電中をお知らせします。



◆**電池残量表示について**(JP-L91440A・JP-L91415A・JP-L92540A)
本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

●電池残量を確認したい時(充電中または充電工具運転中以外)に、残量確認ボタンを押してください。



●その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。

	電池残量 0%	電池残量 約0～10%	電池残量 約10～40%	電池残量 約40～70%	電池残量 約70～100%
電池残量の表示方法					
	全て消灯	1個 点滅	1個 点灯	2個 点灯	3個 点灯

注

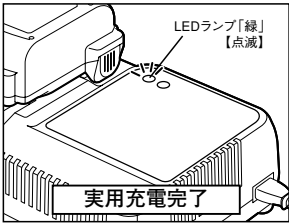
●充電中や充電終了直後、充電工具の運転中は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。

●残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。

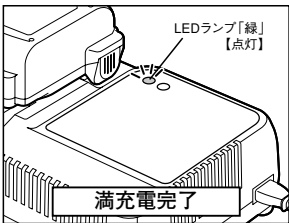
●表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。

●表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

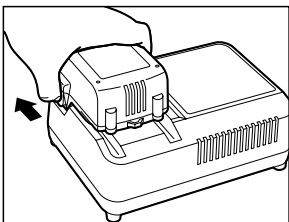
3.LEDランプが「赤」から「緑」の点滅に変わったら**実用充電完了**です。
LEDランプ「緑」が点滅し、電子ブザーが「ピー」と約2秒鳴ります。この状態で電池パックの容量の約90%充電されています。実用充電時間はJP-L91440Aが約33分、JP-L91415Aが約27分、JP-L92540Aが約50分です。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



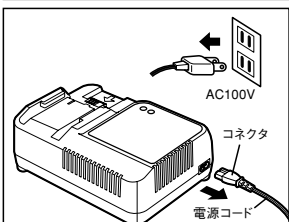
実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでよくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプ「緑」が点灯(電子ブザーが「ピー」と約2秒鳴ります)になれば満充電完了(容量の約100%)です。



●**充電が完了したら電池パックを充電器から抜き取ってください。**



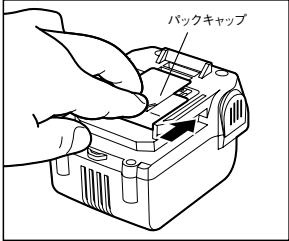
●**電源コードの電源コネクタをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜いてください。**



◆**電池パックを長持ちさせるために(保管方法)**

警告

- 使用後は、工具・充電器から電池パックを取り外し、短絡(ショート)防止用のバックキャップを電池パック端子部にかがせて保管する。



注

●**工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。**
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。

●**工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。**
無理して使い続けると電池パックが傷み、寿命が短くなります。

●**夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。**
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。

●**使い切った状態のまま電池パックを保管しない。**
充電が空の状態です長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。使い終わったらすぐ充電してください。

●**電池パックを電動工具や充電器に装着したまま保管しない。**
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておく過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

◆**電池パックの寿命について**

正しく充電しても使用回数が著しく低下した場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

◆**リチウムイオン電池の輸送について**

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点に注意してください。

◆**充電時の充電器のランプ表示について**

赤/緑	消灯	充電器通電	通電し、充電開始できる状態です。
● 赤	○ 消灯	急速充電中	急速充電中です。
● 赤	● オレンジ	ソフト充電中	低温時等に電池の劣化を防ぐ充電を行っています。
☀ 緑 点滅	○ 消灯	実用充電完了	容量の約90%の充電が完了しました。
● 緑	○ 消灯	満充電完了	満充電が完了しました。
○ 消灯	● オレンジ	待機中	低温もしくは高温の為、充電待機中です。
○ 消灯	☀ オレンジ 点滅	充電不可	充電パックもしくは充電器に異常があります。

注

●LEDランプ「赤」と「オレンジ」が点灯した場合：ソフト充電中
・低温時(約10℃以下)は、充電器・電池パック保護のためソフト充電になり、充電時間が長くなります。
・電池パックの温度が上がると通常の急速充電へと切り替わりますが、切り替わる時間は外気温によって差があります。

●LEDランプ「オレンジ」が点灯した場合：待機中
電池パックが高温の場合
電池パックが熱を持っている時(例：工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など)は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合
電池パックが低温の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所にしばらく置いてから再度充電してください。

電源状態が異なる場合
電源電圧が極端に低かったり高かったりした場合、充電器回路保護の為待機中となり充電を開始しません。発電機や延長コードの使用をやめ、電源状態を改善してください。

警告

- 必ずバックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

◆**リチウムイオン電池のリサイクルについて**
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

警告

- 電池パックは短絡(ショート)防止のため、端子部(金属部)に必ずバックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルに出す。

Li-ion
リチウムイオン
電池はリサイクルへ

◆**電池パックの取り付け、取り外し方**

警告

- 電池パックを工具に取り付け、取り外しをする前に、必ず工具のスイッチがロックされていることを確認する。
- 使用前には、電池パックが工具に確実に取り付けられていることを必ず確認する。不完全な状態でと、作業中に電池パックが落下して怪我などする恐れがあります。



・取り付けは、電池パックの溝を工具の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

・電池パックを工具から取り外すときは、左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。

※イラストはPJ-ID144とJP-L91440A

●LEDランプ「オレンジ」が点滅した場合(電子ブザーが「ビ・ビ・ビ…」と約10秒鳴る場合)：充電不可
充電できない状態です。この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、以下の確認をお願いします。

異物の確認
電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか確認してください。もし、異物が入っていたら柔らかいものなどで異物を取り除いてください。

電源状態の確認
電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないたり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

以上を確認・改善してもLEDランプ「オレンジ」が点滅し続ける時は、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックまたは充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。それでもLEDランプ「オレンジ」が点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通してお申し付けください。

●満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再びLEDランプ「赤」が点灯することがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の「緑」点灯になります。

●充電器には冷却ファンが内蔵されており、電池パック、充電器の温度に応じてファンが作動する場合があります。温度が下がればファンは自動的に停止します。

●充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなる場合があります。

●電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。

●一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分程度休ませてください。

◆**充電器・電池パックの故障について**
次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通してお申し付けください。

- ・充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んででも、LEDランプ「赤」が点滅しない。(電池パックをセットしていない状態)
- ・充電器に電池パックをセットしてもLEDランプ「赤」も「オレンジ」も点灯点滅しない。
- ・電池パックが高温の場合にLEDランプ「オレンジ」点灯後、1時間以上たってもLEDランプ「赤」が点灯しない。
- ・LEDランプ「赤」が点灯後、90分以上してもLEDランプ「緑」点滅に切り替わらない。

5 性能を維持するために

警告

- 電池パックの点検・手入れの際は、必ず電池パックを充電器から外す。電池パックを充電器に取り付けたまま行うと事故の原因になります。
- 充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜く。

◆**電池パックの手入れ**
電池パック、充電器の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガンリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は電池パック、充電器を傷めますので使用しないでください。電池パック、充電器内部に液体が入らないように、また、電池パック、充電器を液体に浸けないように十分注意してください。

◆**各部取り付けねじの点検**
ねじが緩んでいないか点検してください。もし、緩んでいたら締め直してください。

◆**作業後の保管**
作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れがある所は避けてください。充電器JC-925を保管、収納する際は、電源コードを抜いた状態で保管、収納してください。
●電池パックを長持ちさせるために、長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合は、下記のご注意に注意して保管してください。

注

- 充電してから保管する。 ●温度が50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。 ●直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。 ●水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。 ●運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡(ショート)を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず工具・充電器から取り外してバックキャップをつけて保管する。

【アフターサービスについて】

●充電器の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通してお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがの恐れがあります。